

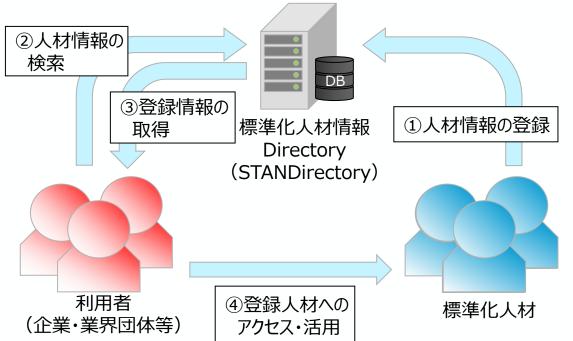
「標準化人材情報Directory」について

2025年11月5日

イノベーション・環境局 基準認証政策課

「標準化人材情報Directory (STANDirectory)」の公開状況

- 2024年6月に「規格開発・交渉人材」の情報を検索できるデータベースを公開。各人材のコンタクト 先や、ISO/IEC等の標準化活動経験、対応可能な支援内容等を一覧で表示。8月下旬に「知財・標準化 一体サポート人材(弁理士)」の情報を検索できる機能を追加。
- 現在、「規格開発・交渉人材」151名、「知財・標準化一体サポート人材」17名を公開。
- 今後、「標準化戦略人材」、「普及・啓発人材」等の登録項目の整備や、 アカデミア人材の登録等により、更なる充実を図っていく。



- ▶ 人材情報は、産業分野、標準化活動経験(ISO、IEC等)、 関連資格の保有状況等の条件を入力して検索が可能。
- ▶ 標準化人材は、一定の要件を満たす人材のみを掲載。 規格開発・交渉人材の場合、①標準化活動経験あり、②関連資格(規格開発エキスパート、規格開発エキスパート補) を保有、③関連する国の研修の受講、のいずれかを満たす者が登録可能。
- ▶ 標準化人材へのアクセスによる負荷も考慮し、各人材へのアクセス先は、所属団体の窓口を設定することも可能。
- ▶ 標準化活動経験に関しては、公開時点で対応していないデジュール標準(ITU-T等)についても、必要に応じ順次、データベース項目の拡張を行う。

「標準化人材情報Directory (STANDirectory)」の公開状況

- 2024年6月~2025年10月末までに累計約35,000PVのアクセス。
- 活用方法がわからない、という声に対して、活用例を公開。
- 2025年度は、データベース拡張のため、ITU人材の登録について総務省と検討中。また、大学や高専教員へアカデミア人材の登録について働きかけを実施。

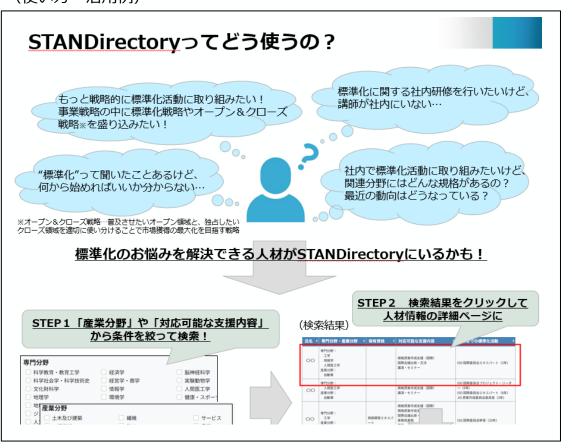
【アクセス数】

	2024/6/3~ 2025/10/24
PV	35,171
平均滞在時間	3分52秒

【活用想定事例の公開】

- より活用されるよう、使い方や活用例を公開。
- 社内研修を実施する場合の講師探しや、オープン&ク ローズ戦略の立案のために活用されることを期待。

(使い方・活用例)



ITU-Tの追加

- 標準化人材としてITU-T人材も登録できるよう改修を予定
- 総務省や登録機関との調整を進め、年度内のアップグレードを予定。



- 新たにITUタブを設けることを想定。
- ITU-Tに即した規格や委員会体系の項目を設ける。
- 総務省から提出された要件の初案を元に、今後システム 担当との調整を進める予定。

